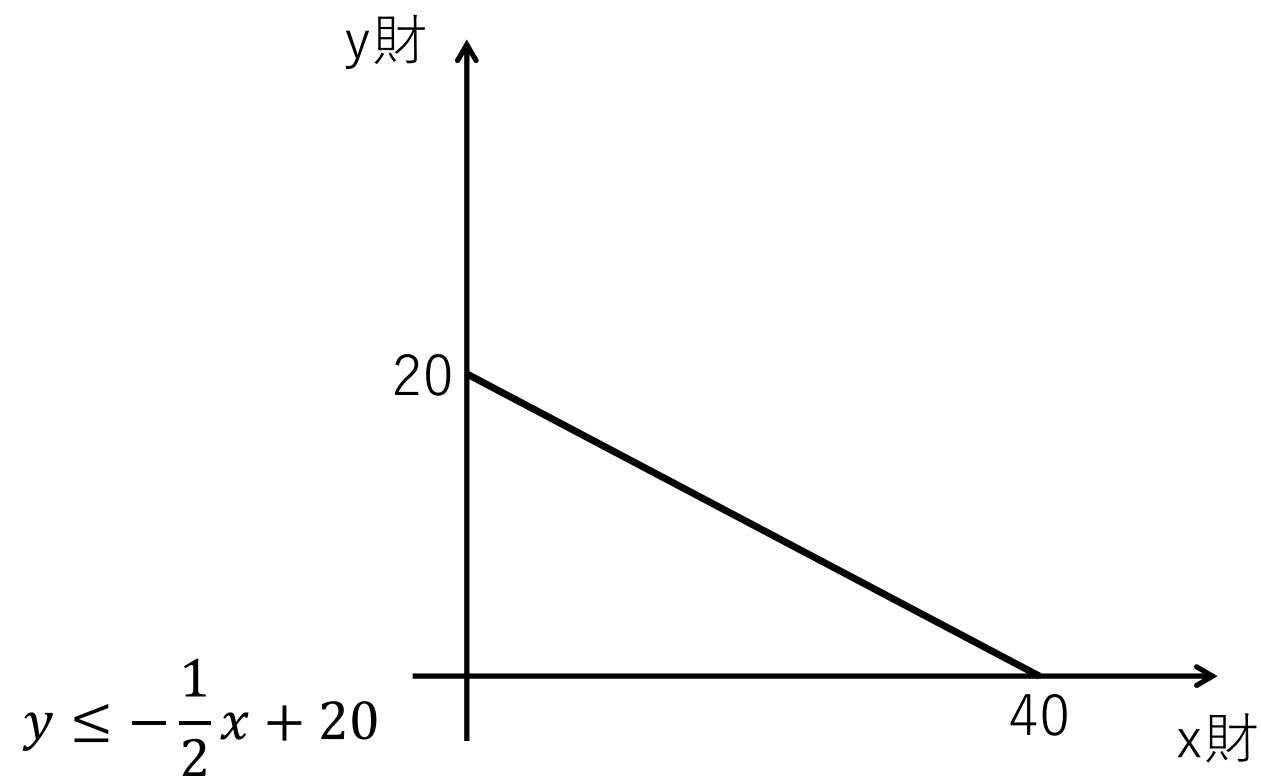


ミクロ経済学A/現代経済学I 第7回「消費者行動理論②」

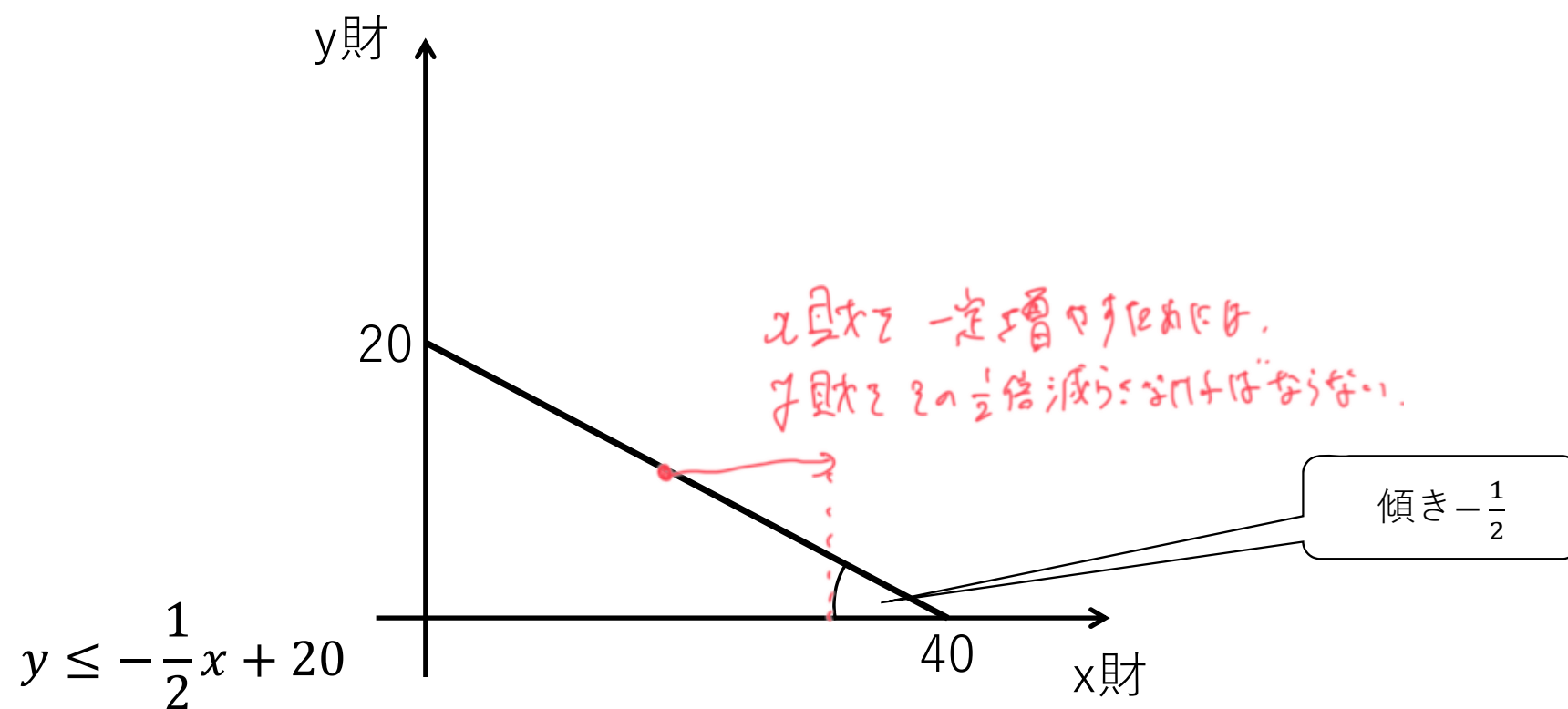
法政大学 経済学部 平井俊行

予算制約線の傾き

$50x + 100y \leq 2000$ の予算制約線



予算制約線の傾き



予算制約線の傾き

予算制約線の傾き(からマイナスをとったもの) は、

- x 財1単位と交換可能な y 財の量
- 一般的には価格比になっている。
 - x 財の価格を p 、 y 財の価格を q 、予算を B とおくと予算制約式は
 - $px + qy \leq B \Leftrightarrow y \leq -\frac{p}{q}x + \frac{B}{q}$.
- 公開されている交換比率.

価格の変化と予算制約

- 本講義ではx財の価格のみが変化した場合のみ考える。
 - y財の価格や予算は固定。
- x財の価格が変化すると、予算制約を満たす財の組合せはどのように変化するか？
- y財の価格を50、予算を1000とする。
 - y財のみ購入した場合は20単位購入できる。

価格の変化と予算制約

x財の価格が・・・

- 50のとき、

予算制約式： $50x + 50y \leq 1000 \Leftrightarrow y \leq -x + 20$

- 100のとき、

予算制約式： $100x + 50y \leq 1000 \Leftrightarrow y \leq -2x + 20$

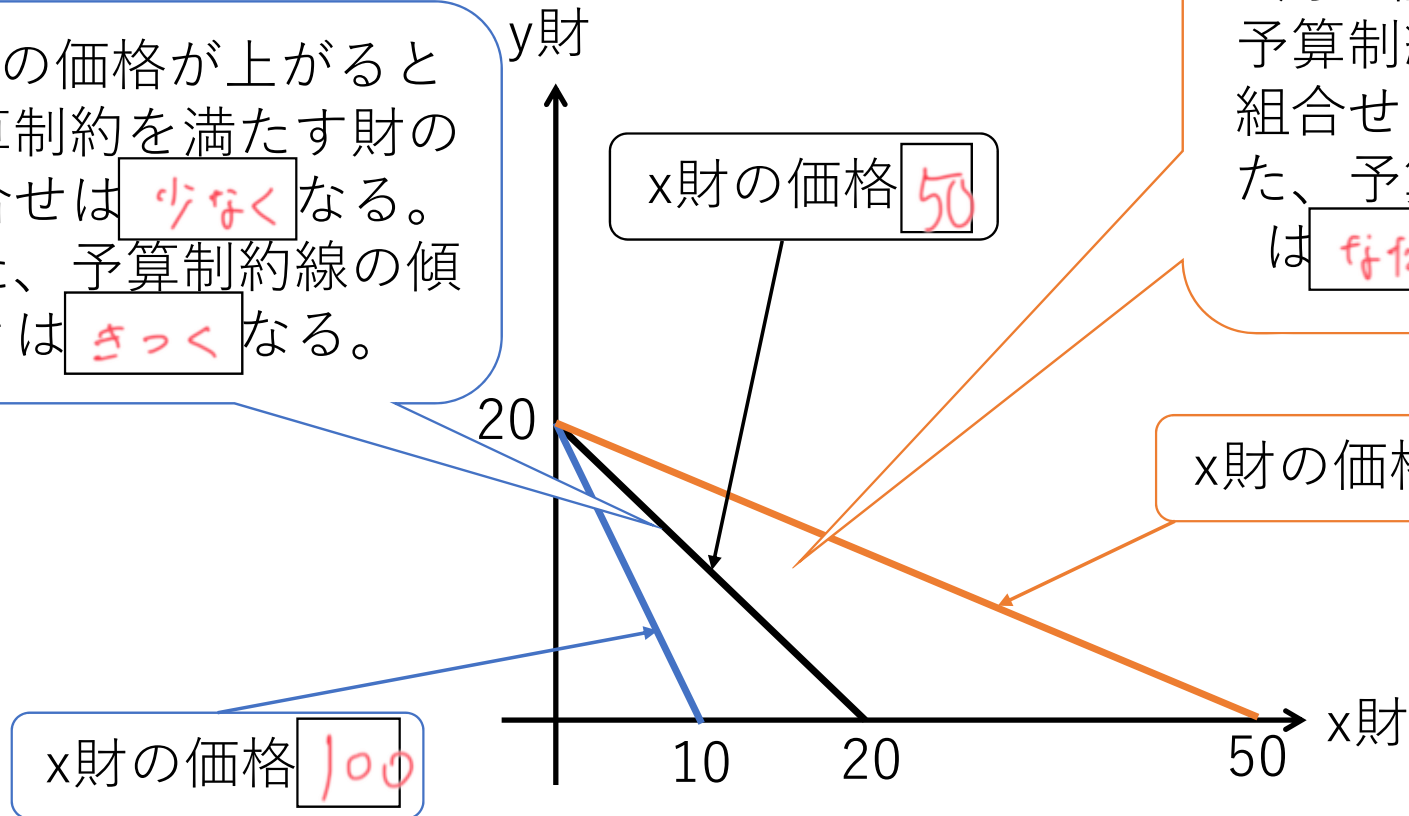
- 20のとき、

予算制約式： $20x + 50y \leq 1000 \Leftrightarrow y \leq -\frac{2}{5}x + 20$

価格の変化と予算制約

x財の価格が上がると
予算制約を満たす財の
組合せは **少なく** なる。
また、予算制約線の傾き
は **きつ** くなる。

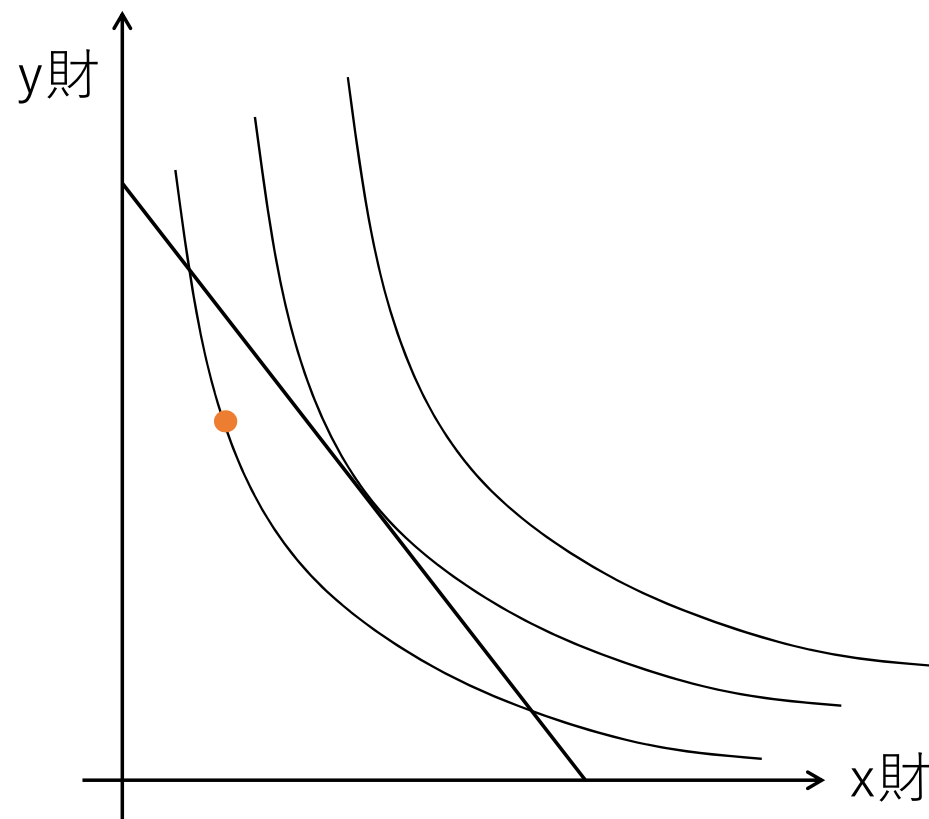
x財の価格が下がる
と予算制約を満たす財の
組合せは **多** くなる。また、
予算制約線の傾きは **緩** くなる。



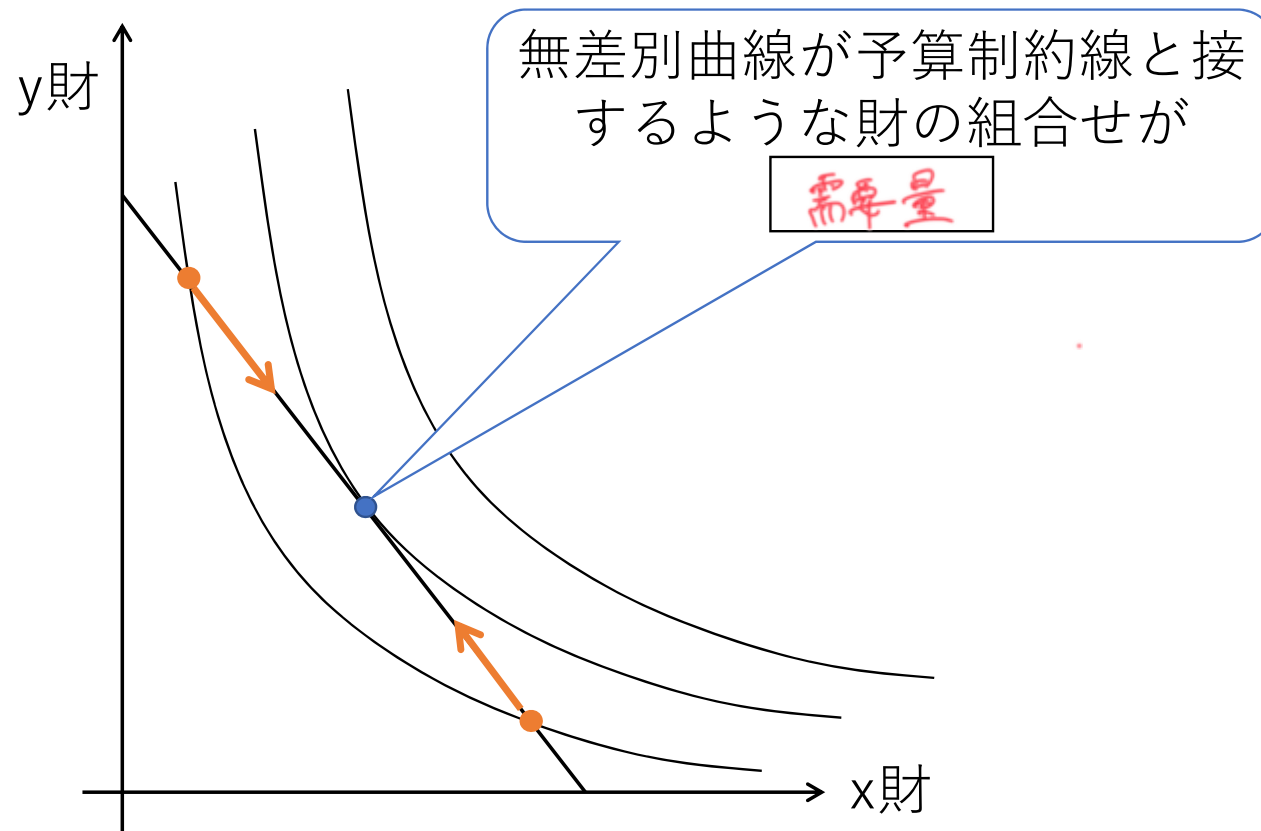
消費者の行動

- 消費者は与えられた価格のもとで、自身の**予算制約**を満たす範囲内で最も**好き嫌い**財の組合せを選択する。
- このような財の組合せを与えられた価格のもとでの**需要量**と呼ぶ。

需要の導出



需要の導出



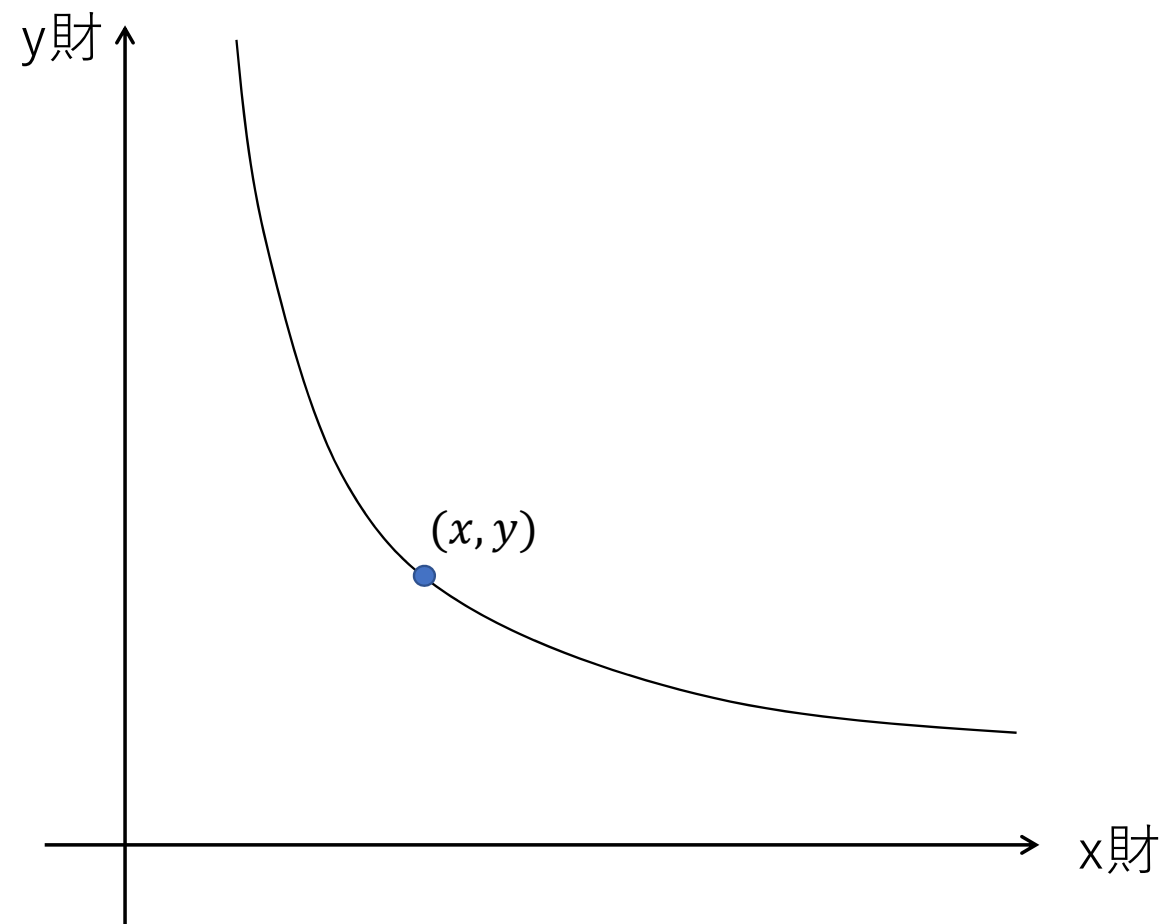
需要の導出

- ある与えられた価格のもとでの需要量は、
予算制約線が無差別曲線と接するところ。
- 別の言い方をすると、予算制約線は、無差別曲線の需要量における接線になっている。
- 経済学の言葉で言い表すとどういうことだろう？

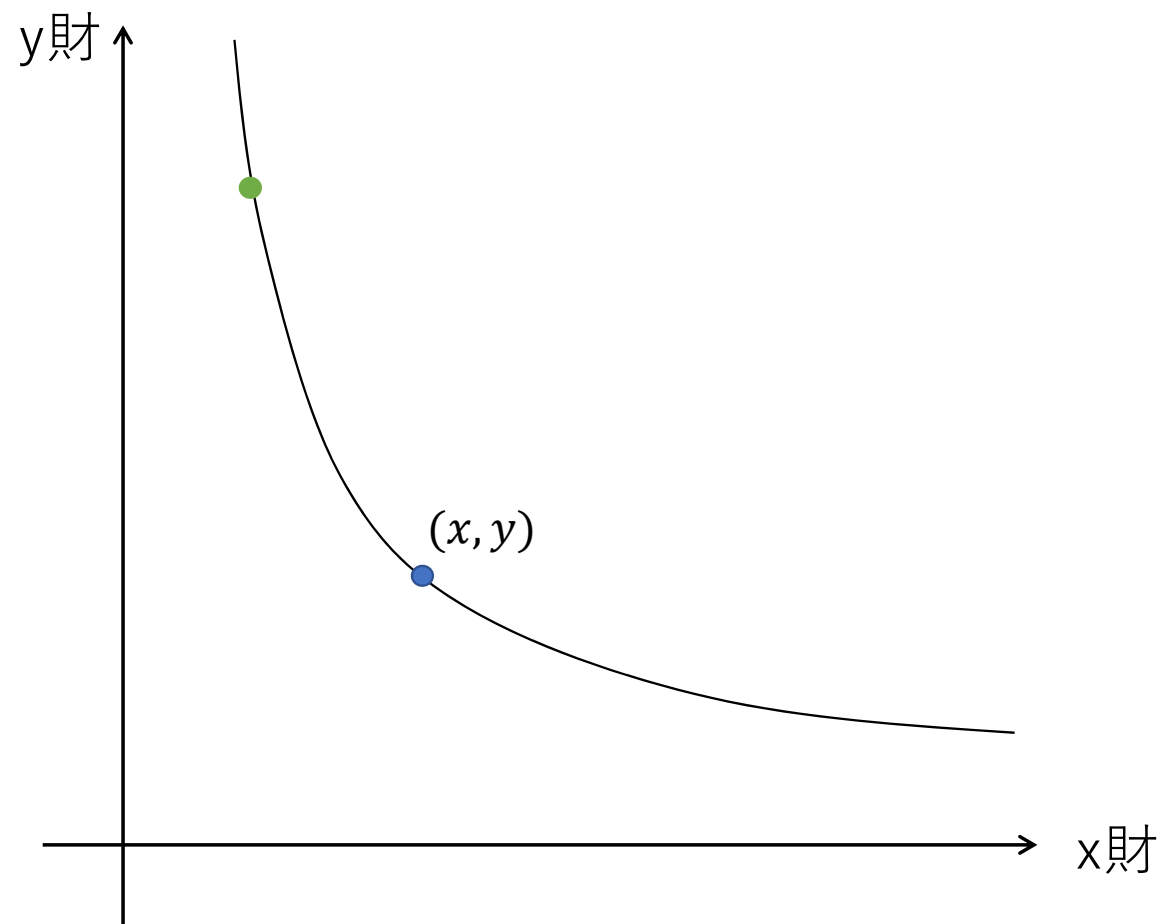
限界代替率

- 一方の財を増やすためにもう一方の財をどれだけ減らしてもよいか（元の消費点と同じ効用 (無差別) になるか）。
 - 選好の特徴を捉えるうえで重要。
- 限界代替率
 - 財1を増やすために、その何倍の財2を減らしてもよいか（元の消費点と同じ効用になるか）。
 - 財1を減らすならば、その何倍の財2を増やせばよいか（元の消費点と同じ効用になるか）。

限界代替率



限界代替率



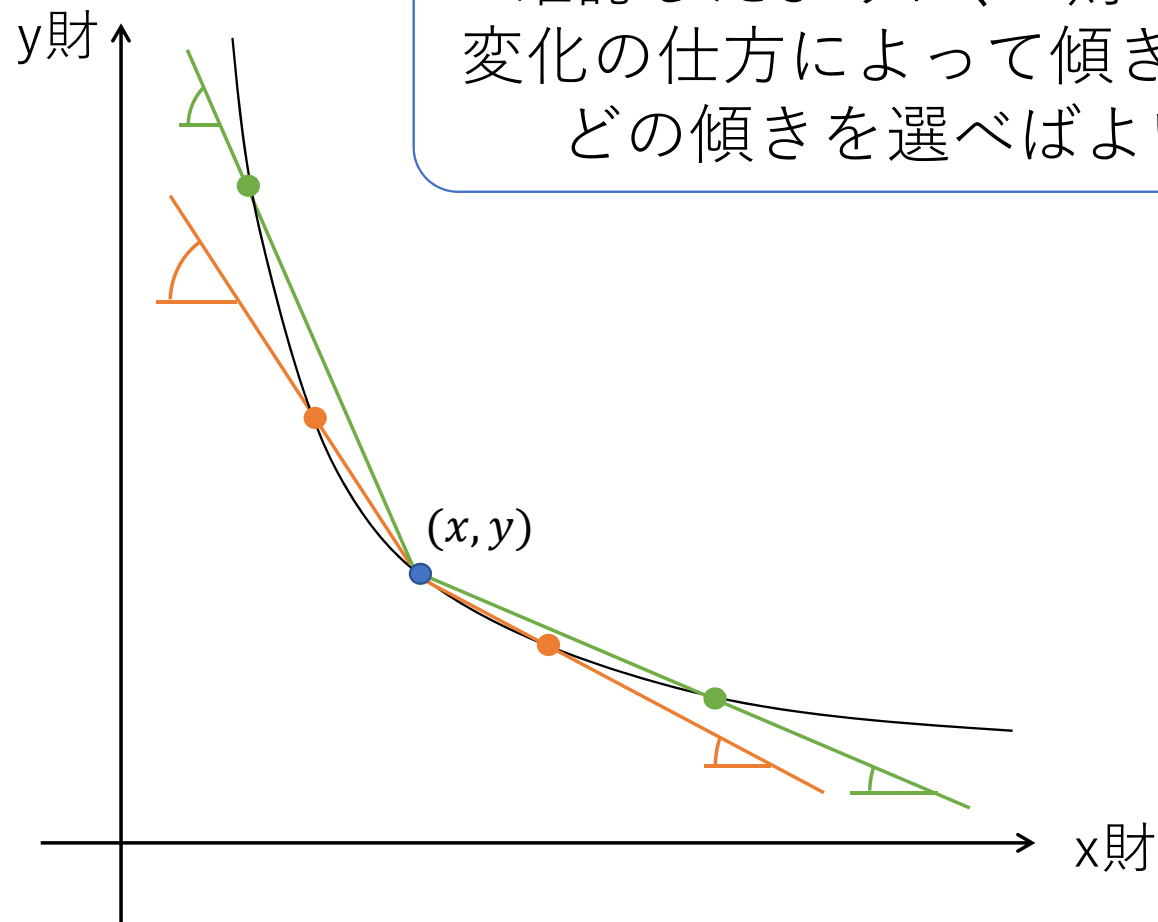
限界代替率

- 「x財1単位あたりy財を支払う」や「x財1単位あたりy財を購入する」というのは、まとめていうと

x財をy財で代替(substitute)するということ。

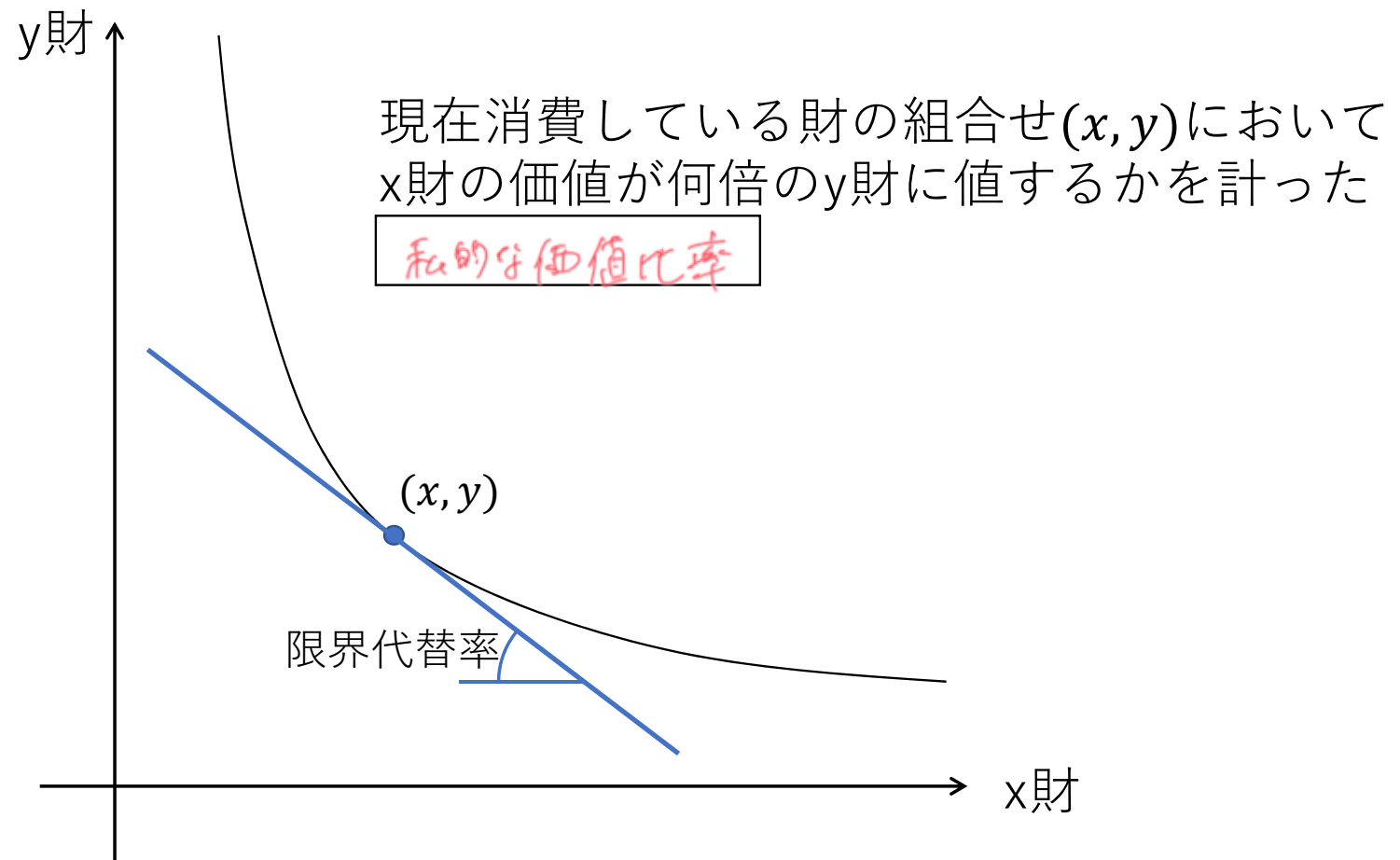
- x財をその何倍のy財で代替できるかを（x財のy財に対する）
限界代替率という。

限界代替率



確認したように、x財の消費量の変化の仕方によって傾きは異なる。
どの傾きを選べばよいのか？

限界代替率



限界代替率

限界代替率は 無差別曲線の接線 の傾きの絶対値（マイナスの符号を取ったもの）。

- 上の限界代替率を正確に言うと

(x, y) における x 財の y 財に対する限界代替率

- 消費している財の組合せに依存する。
- 本講義では x 財の y 財に対する限界代替率のみを考えることにする。